

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	EGG		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 15日		～ R7年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	R7年 1月 15日		～ R7年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他職種で支援を行ない、子どもひとり一人に応じた支援の提供が行えている。	児童発達支援管理責任者が立案する計画書を元に各子ども達の担当スタッフが更に細分化した計画書を立案する事で担当以外のスタッフでも具体的な支援を行なうことが出来る。	研修などでスタッフそれぞれが自己研鑽出来る様に業務なども配慮してしていく。
2	課外活動を多く取り入れている。	課外活動を行なう事で事業所以外での人間関係や社会性を身につける事、集団活動の中でのルールを学ぶ事を大切にしている。	課外活動では小集団での活動になるが今後はひとり一人に必要な活動を多く取り入れ支援方針でもある社会で人と関わりながら生きていく力を育むことに力を入れていきたい。
3	3障がい(身体・知的・精神)に対応していること	様々な障害を持つ子ども達がいることで子ども達同士で思い合ったり助け合ったり出来、小さな事業所の中でインクルーシブの取り組みが行える。	子ども達の様々な状況や感情など十分に配慮しながら現状を維持していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場を持つ事が出来ていない	仕事をしている保護者が殆どでそれぞれの時間の都合が合わせにくい	事業所の見学週間などを設けそこで保護者同士が交流できるようにしていきたい
2	子ども達が室内で過ごす時に場所が手狭	元々の広さが決まっている	目的に応じて部屋分けを行ったり時間でスライドしたりと工夫をしていく
3			